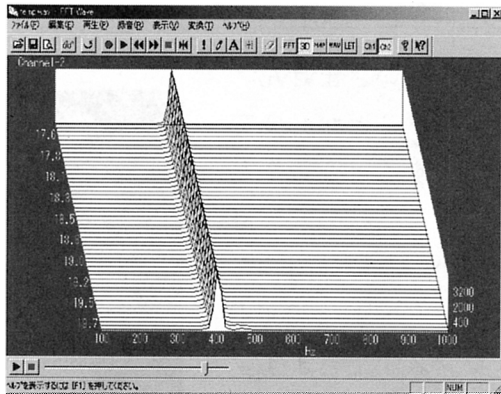
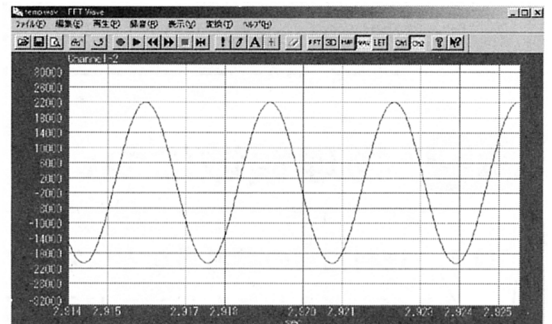


Q 3 新しい教科書にあるコンピュータを用いた音の計測で、ソフトや計測機器はどうしたらよいのか？

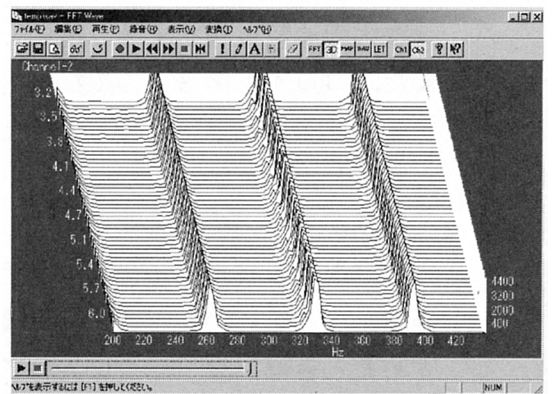
A マイクとスピーカと対応ソフトさえあれば簡単にできます。(最近のWindowsのパソコンでは、音を取り扱うためにサウンドカードが標準で装備されています。このカードを介して音の入出力が可能になっています。) 音を計測するには、データ解析用としてオシロスコープの代わりになるようなソフトが必要です。これらのソフトの多くはオシロスコープを扱うときのような専門的な知識をあまり必要としません。また、特定の周波数を出すソフトがあると便利です。ここでは、データ解析用として「サウンドモニターソフトFFT Wave」、音声出力用として「多機能高精度テスト信号発生ソフトWaveGene」を紹介します。

◎ **サウンドモニターソフトFFT Wave** **データ解析用** (シェアウェア1,000円 2002年 3月末現在)

マイクを通してコンピュータに取り込んだ音をリアルタイムで表示することができます。たとえば、右図は、次に紹介する音声出力ソフトで出力した400Hzの音を取り込んだものです。また、ドレミ表示などもできます。詳しくはこのソフトの著作者のウェブページ <http://www2.tky.3web.ne.jp/~nozu/> を参照してください。



ソプラノリコーダーの「ラ」の音=440Hzを取り込んだもの



キーボードで「ドミソ」の和音を取り込んだもの

◎ **多機能高精度テスト信号発生ソフト**

WaveGene(forWindows95 / 98 / NT4) **音声出力用**

(フリーウェア)

このソフトは、様々なテスト用音声信号を発生させ、サウンドカードや、Waveファイルへ出力するソフトです。3音同時に出力することもできます。右図はその設定画面です。

詳しくはこのソフトの著作者のウェブページ

<http://www.ne.jp/asahi/fa/efu/soft/wg/wg.html>

を参照してください。

